



学校だより

学校の教育目標

- ・思いやりがあり、心の豊かな人になろう
- ・自ら学び、考え、表現できる人になろう
- ・心身ともに進んで鍛え、健康な人になろう

第5号

令和3年9月25日
杉並区立阿佐ヶ谷中学校

生徒会役員選挙がありました

副校長 佐々木啓之

9月10日に、生徒会役員選挙がありました。この生徒会役員選挙は、阿佐ヶ谷中学校生徒会の一員としての自覚を高めるとともに、18歳になったときの有権者としての資質を育成するための学習でもあります。今年度は、6名の立候補者が、オンラインによる立会演説会を行いました。どのクラスも、スクリーンに映し出された推薦者や立候補者の真剣な演説にしっかりと聴き入り、演説終了時には自然と拍手が沸き起こっていました。各立候補者は応援演説者とともに、朝の選挙活動を行ったり、給食中に放送による演説を行ったりしました。そして、立会演説会当日は、どの立候補者もしっかり自分の抱負や主張を熱く語っていました。

生徒会は、自分たち生徒のために生徒全員で構成する組織です。そのため、一人一人の生徒が、生徒会の一員としての自覚をもち、意見を述べたり、生徒会活動に積極的に参加したりすることが大切です。自分たちの興味・関心やアイデアを生かし、企画・運営していくことが生徒会活動の柱となります。そして、日常の活動を疎かにせず、着実に実行することを努力して欲しいと考えています。日常の活動こそ自分たちの学校生活を支えているのです。あたり

まえと感じられる活動を、あたりまえとして努力できることこそ生徒会の大きな推進力となります。

さて、私は、中学生は、努力することで、自分のできることを広げる力をたくさんもっていると考えています。中学生は、成長の可能性がたくさんあるということです。子どもたちには、この中学生の時期に自分のできることを広げる努力をたくさんして欲しいと思います。努力することに懸命でないことは、自分の成長や可能性を狭めてしまうことにもなります。努力は、自分の意志でするものです。生徒会活動でも、一人一人の生徒が「学校生活を良くしたい」「こんな活動をしてみたい」という思いを強くもち、努力することで、素晴らしい成果をあげることができると思います。

生徒一人一人が各学級で、お互いのよさや違いを認め合い、協力し合い、伸び伸びと活動し、上級生、下級生の学年を越えた交流で全校生徒が一つになり、生徒会活動が活発に進められ、そして、「阿佐ヶ谷中学校の伝統」として受け継がれていく生徒会になることを楽しみにしています。